

モンゴル事務所ニュースレター 2019年8月号

トップニュース

ジャパンフェスティバル 2019 に出展しました！



2019年8月17日、18日に開催された「ジャパンフェスティバル 2019」に JICA モンゴル事務所が出展しました。モンゴルの方に「日本をまるごと」紹介することを目的に、日本文化・観光を紹介するイベントに加え、モンゴルとのビジネス展開を検討している本邦企業の方々も数多く出展しました。JICA からは、主に JICA ボランティアの方々が行った書道体験など日本文化を紹介する活動を行い、沢山のモンゴル人の方々に楽しんで頂きました。初日のメインステージでは、JICA モンゴル事務所田村所長より、交通安全啓発に関するスピーチを行ったとともに、先般警察庁と協力して作成した交通安全ソングの紹介も行いました。

プロジェクトの動き

2019 年度 JDS 留学生の壮行会が行われました



8月16日（金）大使公邸にて、今年 JDS（人材育成奨学計画）生として日本に留学予定の学生たちの壮行会が行われました。今年は合計22名が日本の大学へ留学し、博士号・修士号の取得に向けて勉強します。壮行会は大使の挨拶に始まり、大蔵省副大臣、教育省副大臣が挨拶しました。また学生代表は答辞にて「貴重な機会を得たことに感謝し、モンゴルの将来を担うための人材となれるよう努力したい」と述べました。

ディーゼル路線バスの黒煙除去装置（DPF）の供与式が開催されました



中小企業海外展開支援事業として 2017 年 11 月から実施されてきた「ディーゼル路線バスの DPF による黒煙低減計画に関する普及・実証事業」が 2019 年 9 月に終了することを受け、同年 8 月 1 日に機材の供与式が行われました。UB 市内の路線バス 24 台に設置された埼玉県の株式会社コモテック社の DPF は、97%以上の黒煙を削減することが証明されています。今後も DPF が適切に維持管理され、UB 市の大気汚染対策に貢献することが期待されています。

安全な出産の実現に向けた中小企業・SDGs ビジネス支援事業を開始しました



2019年8月7日にサランゲレル保健大臣出席の下、JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業「分娩監視装置及び集中監視システム導入を通じた周産期医療の質の改善のための普及・実証事業」（実施企業：トーイツ株式会社）の開始式を行いました。本事業では国立母子保健センター、ウランバートル市第1～3産科病院の4病院を対象に分娩監視装置各6台、集中監視システム各1セット等が設置され、安全な出産の実現に向けた効果の実証や適切な利用のためのガイドライン、マニュアルを整備していく予定です。保健大臣からは機材に加え人材育成の重要性や本事業への期待が述べられました。

ボランティア事業の動き

ボランティア活動紹介 （美容師隊員の活動）



JICA は当国の開発課題「産業多角化の推進と地域開発戦略の強化」へのボランティア事業による取組みの一つとして、トゥブ県職業訓練校の美容科に「美容師」の専門の協力隊を派遣しています。相馬円隊員は2017年10月から2年間、美容科の先生をカウンターパートに、学生に指導をしてきました。活動の締めくくりとして、最新の技術を盛り込んだ「美容教本」を作成。トゥブ県職業訓練校美容科での教科書となることはもちろん、同教本は図書館や実際の美容院の代表店へ供与され、モンゴルの美容分野をリードする一助となることでしょう。

事務所ナショナルスタッフが日本語で執筆！

独立行政法人 国際協力機構 モンゴル事務所
Bodi Tower 7th Floor, Sukhbaatar Square 3, Ulaanbaatar, Mongolia
Tel:+976-325939, 311329/Fax:+976-310845/E-mail: mg_oso_rep@jica.go.jp
Web: www.jica.go.jp/mongolia/index.html/FB: [JICA Mongolia](https://www.facebook.com/JICA.Mongolia)